ONKYO

# CD レシーバーシステム

# X-U1X

CR-U1X（CD レシーバー）
D-U1X（スピーカーシステム）

## 取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。


はじめに ..... 3
接続をする ..... 15
基本操作をする ..... 19
CDを再生する ..... 20
iPod/iPhone/iPadを再生する ..... 22
Bluetoothで接続して再生する ..... 23
FM放送を聞く ..... 24
USBフラッシュメモリーを再生する ..... 26
時計を設定する
タイマー機能を使う ..... 26
その他 ..... 29


COMPACT disc DIGITAL AUDIO

Made for iPod iPhone iPad

Bluetooth®

# 目次


## はじめに

**主な特長** ..... **3**
**箱の中身を確かめる** ..... **4**
スピーカー（D-U1X） ..... 4
**安全上のご注意** ..... **5**
**CD（音楽CD、MP3）、USBフラッシュメモリー（MP3）について** ..... **9**
**製品の取り扱いについて** ..... **11**
**各部の名前** ..... **12**
上面、前面パネル ..... 12
表示部 ..... 13
背面パネル ..... 13
リモコン ..... 14

## 接続をする

**スピーカーを接続する** ..... **15**
**アンテナを接続する** ..... **16**
**外部機器を接続する** ..... **17**
パワーアンプ内蔵サブウーファーを接続する ... 17
再生機器との接続 ..... 17
電源コードの接続 ..... 17
USBポートの接続について ..... 18

## 基本操作をする

**基本の操作** ..... **19**
電源を入れる ..... 19
自動スタンバイ（ASb）の設定 ..... 19
入力を切り換える ..... 19
音量を調節する ..... 19
音を一時的に消す ..... 19
ヘッドホンで聞く ..... 19
低音または高音を調節する ..... 19
重低音を強調する ..... 19
表示部の明るさを切り換える ..... 19

## CD を再生する

**CDを再生する** ..... **20**
CDを再生する ..... 20
表示部の情報を切り換える ..... 20
CD（MP3）のフォルダやファイルを選ぶ ..... 20
表示部のMP3情報を切り換える ..... 21
ランダム再生 ..... 21
リピート再生 ..... 21

## iPod/iPhone/iPad を再生する

**iPod/iPhone/iPadを再生する** ..... **22**
iPod/iPhone/iPadをUSBで再生する ..... 22
iPodのメニュー操作 ..... 22

## Bluetooth で接続して再生する

**Bluetoothで接続して再生する** ..... **23**
Bluetooth対応機器から音声を再生する ..... 23
Bluetooth情報を表示する ..... 23
Bluetoothスタンバイの設定 ..... 23

## FM 放送を聞く

**FM放送を聞く** ..... **24**
周波数を合わせて聞く ..... 24
放送局を自動で登録する（オートプリセット） ..... 24
放送局を1 局ずつ登録する ..... 24
登録した放送局を聞く ..... 25
登録した放送局を削除する ..... 25

## USB フラッシュメモリーを再生する

**USBフラッシュメモリーを再生する** ..... **26**

## 時計を設定する タイマー機能を使う

**時計を設定する** ..... **26**
**タイマー機能を使う** ..... **27**
タイマーを予約する ..... 27
タイマーのOn（実行）/Off（取消）を切り換える ..... 28
SLEEPタイマーを使う ..... 28
iPodのアラーム機能を使用してのタイマー再生 ..... 28

## その他

**困ったときは** ..... **29**
**主な仕様** ..... **32**
**オンキヨー　ご相談窓口・修理窓口のご案内** ..... **33**
**修理について** ..... **34**


**音のエチケット**

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

# 主な特長

## 総合

- ■ 重低音の調節ができるS.BASS（スーパーバス）機能
- ■ 低音や高音を調節できるBASS（バス）、TREBLE（トレブル）機能
- ■ 外部AV機器を接続できるLINE IN（ライン イン）装備
- ■ オーディオ出力PRE OUT（SUBWOOFER）搭載
- ■ ヘッドホンジャック搭載

## CDプレーヤー

- ■ CD-R、CD-RW 再生対応
- ■ 音楽CD、MP3ディスクの再生が可能
- ■ ランダム再生、リピート再生

## スピーカー

- ■ 硬度が高く響きの良いMDF木製キャビネット
- ■ 2ウェイバスレフ型

## iPod/iPhone/iPad

- ■ iPod/iPhone/iPad[*1]デジタル接続
- ■ 本機付属のリモコンでiPodの操作が可能
- ■ iPod touch（タッチ）（第一、第二、第三、第四世代）、iPod nano（ナノ）（第二、第三、第四、第五、第六世代）、iPhone 4S、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G、iPad（第三世代）、iPad 2、iPad[*2]に対応
- ■ iPod/iPhone/iPad充電機能

## ラジオ

- ■ 30局メモリー可能なFMチューナー搭載
- ■ オートプリセット

## USBフラッシュメモリー

- ■ USBフラッシュメモリーでMP3ファイルの再生可能

## タイマー

- ■ タイマー機能
- ■ おやすみ前にも安心のスリープタイマー機能
- ■ 時計の24 時間表示、12 時間表示切り換え機能
- ■ iPodのアラーム再生機能で、本機の電源が入り、iPodへの入力切り換えが可能[*2]

## Bluetooth

- ■ ワイヤレス音楽再生が可能なBluetooth機能搭載[*3]
- ■ 対応プロファイル：A2DP 1.2
- ■ 対応オーディオコーデック：SBC、AAC、aptX[*4]

[*1] Made for iPod iPhone iPad

iPad、iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「Made for iPod」、「Made for iPhone」、「Made for iPad」とは、それぞれiPod、iPhone、iPad専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。この製品とiPod、iPhone、iPadを使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。

[*2] iPod/iPhone/iPadの機種、アプリケーションによっては作動しないものがあります。

[*3] すべてのBluetooth機能対応製品とのワイヤレス通信を保証するものではありません。本機とBluetooth対応機器との互換性については、各Bluetooth対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。一部の国では、Bluetooth 対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問合せください。

Bluetooth はBluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

その他の安全に関する情報については、本機の底面または背面の定格ラベルを参照してください。

Bluetooth®

[*4] aptX is a registered trademark of CSR plc.

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。

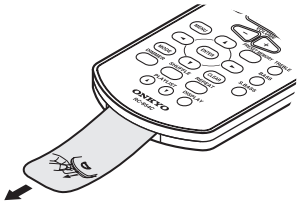
# 箱の中身を確かめる

製品本体および下記の付属品が入っているかご確認ください。（ ）内の数字は数量をあらわしています。

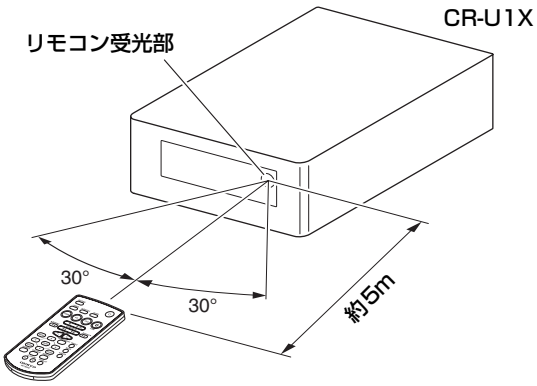
| |
|---|
| 製品本体（CR-U1X）（1） |
| リモコンRC-854C<br>（ボタン電池CR2025搭載済み）（1） |
| FM 室内アンテナ（1） |
| 電源コード（1） |
| 取扱説明書（本書）（1）<br>保証書（1） |
| スピーカー（D-U1X）（2） |
| スピーカーケーブル（1.1m）（2） |
| スピーカー用コルクスペーサー（8） |

## リモコンの使いかた

リモコンを使用する前に電池の保護シートを引き抜いてください。



リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

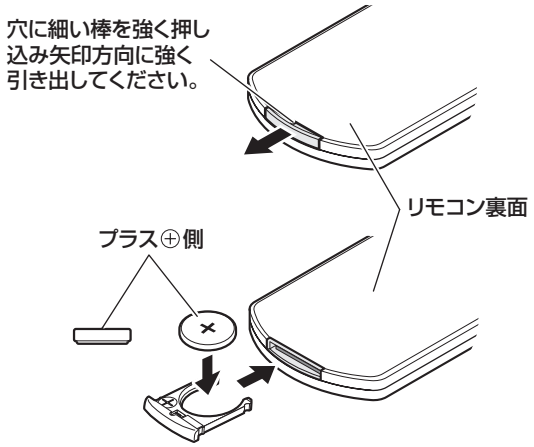



ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に、本などものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスが使われていると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

## 電池交換のしかた

電池は同じ型番のもの（CR2025）をご使用ください。

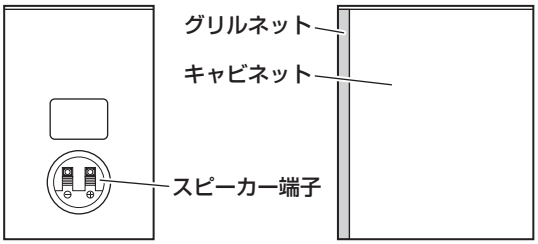



ご注意

- リモコンの反応が悪くなった場合は、電池を交換してみてください。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、電池をはずしておいてください。

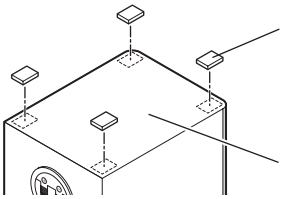
# スピーカー（D-U1X）

D-U1Xにはスピーカーの左右の区別はありません。どちらを左側/右側で使用しても音質は変わりません。




### ■付属のコルクスペーサーを使う

安定した設置と、より良い音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。




コルクスペーサーは、図のようにD-U1X底面の四隅に貼り付けてください。

ご注意

- コルクスペーサーを貼るときは、やわらかい布の上で作業を行うなど、スピーカー表面に傷を付けないようご注意ください。

# 安全上のご注意
## 安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

**電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。**
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

### 「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
| ⚠注意 | 誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。 |

### 絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意　感電注意

⃠記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止　ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く　必ずする

## ⚠ 警告

### 故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 製品を落としてしまった
- 製品内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

### 分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

### 接続、設置に関するご注意

**■通風孔をふさがない、放熱を妨げない**

禁止

CDレシーバーには内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。

- CDレシーバーを押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（CDレシーバーの天面、横から20cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

**■水蒸気や水のかかる所に置かない、製品の上に液体の入った容器を置かない**

水場での使用禁止

水濡れ禁止

製品に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 製品の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

### 電源コード・電源プラグに関するご注意

**■電源コードを傷つけない**

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが製品の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

**■電源プラグは定期的に掃除する**

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

# ⚠ 警告

## 使用上のご注意

**■CDレシーバー内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない**

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- CDレシーバーの通風孔、CD挿入口から異物を入れない
- CDレシーバーの上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

**■長時間音がひずんだ状態で使わない**

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

**■CD挿入口に手を入れない**

指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

**■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない**

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

**■レーザー光源をのぞき込まない**

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

**■雷が鳴りだしたら製品、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない**

接触禁止

感電の原因となります。

**■心臓ペースメーカーを装着されている場合は、本機を使用しない**

禁止

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。

**■病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では本機を使用しない**

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

**■他の機器に電波障害などが発生した場合、本機の使用を中止する**

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

**■長期間大きな音で使用しない**

禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

## 電池に関するご注意

**■電池を充電しない、分解しない、水の中に入れない、火の中や直射日光にあてるなど過度に温度の高いところに置かない**

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

**■電池から漏れ出た液にはさわらない**

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

**■ボタン電池は、小さなお子様の手の届かないところへ置く**

必ずする

小さなお子様が誤って飲み込むと大変危険です。お子様の手の届かない所へ保管してください。万一飲み込んだ可能性がある場合、大至急医師に相談してください。

# ⚠ 注意

## 接続、設置に関するご注意

**■不安定な場所や振動する場所には設置しない**

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

**■製品の上にものを置かない**

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、製品に乗ったりしないでください。

# ⚠ 注意

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

## 電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する

必ずする

製品を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

⏻ON/STANDBYボタンで本機をスタンバイ状態にしているときでも本機は通電しています。完全に電源を切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

## 使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

CD レシーバーの通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量を上げすぎない

禁止

- 突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

## 移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■製品の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

製品の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
グリルネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

## 電池に関するご注意

■リチウム電池を破棄する場合は絶縁処理をする

必ずする

プラス、マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして、自治体の指示に従って破棄してください。

## ■ 機器内部の点検について

内部清掃については、販売店にご相談ください。
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

## ■ 本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

## ONKYO ユーザー登録のおすすめ

**オンキヨー製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。**

オンキヨーは、ユーザーの皆様により快適な製品サービスを提供するために、ユーザー登録を行っています。お手数ですが、ご登録とアンケートにご協力をお願いいたします。

**ユーザー登録いただきますと・・・**

- メールアドレスをご登録いただくことで、Eメールによる製品サポート情報、製品関連情報をいちはやくお届けいたします。
- ご希望により、e-onkyo.comオンラインショップから情報メールをご案内いたします。
- オンキヨー運営関連サイトを便利にご利用いただくことができます。

弊社ホームページからご登録ください！
**http://www.jp.onkyo.com/support/**

- ご登録の際には、保証書等に記載の製品番号（SERIAL）をご用意ください。

※ ご登録いただいたお客様情報が、オンキヨーのサービス以外の目的で使用されることはありませんので、ご安心ください。

# CD（音楽CD、MP3）、USBフラッシュメモリー（MP3）について

### 再生上のご注意

CD（コンパクトディスク）はディスクラベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。

※ 本機はCD-R、CD-RWに対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用CDレコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは絶対に使用しないでください。ディスクがつまるなど機器の故障の原因となります。

### 複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

### MP3ディスクの再生について

本機はCD-R/CD-RWに記録したMP3ファイルを再生することができます。

- ISO9660レベル2のファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。ただし、対応している階層はISO9660レベル1と同じ8階層までです。
  また、HFS（hierarchical（ヒエラルキカル） file（ファイル） system（システム））ファイルシステムで記録されたディスクは再生できません。
- ディスクはクローズ（ファイナライズ）してください。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32/44.1/48kHz、ビットレート（32～320kbps）固定ビットレート（CBR）で記録されたファイルに対応しています。
- 1枚のCDで認識できるフォルダの数は299までです。また1つのフォルダ内で認識できるファイルの数は648までです。

### USBフラッシュメモリーの再生について

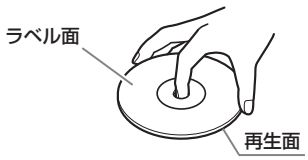
- 本機はUSBフラッシュメモリーに記録したMP3ファイルを再生することができます。
- USBフラッシュメモリーのフォーマットは、FAT16、FAT32に対応しています。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32/44.1/48kHz、ビットレート（32～320kbps）固定ビットレート（CBR）で記録されたファイルに対応しています。
- 1つのUSBフラッシュメモリーで認識できるフォルダの数は299までです。また1つのフォルダ内で認識できるファイルの数は648までです。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります。（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）
- データ容量が小さすぎるディスクは再生できないことがあります。

### 取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。




再生面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などをつけないようにしてください。

### レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

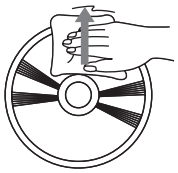
# CD（音楽CD、MP3）、USBフラッシュメモリー（MP3）について

### インクジェットプリンター対応CD-R/CD-RWの注意について

プリンターでラベル面への印刷が可能なCD-R/CD-RWを本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となるおそれがあります。
必要なとき以外は、ディスクを取り出してケースに保管してください。なお、印刷直後のディスクは特に貼り付きやすいので、使用しないでください。

### CDのお手入れについて

汚れにより信号が読み取りにくくなり、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

# 製品の取り扱いについて

### お手入れについて

本機の表面はときどき柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと、乾いた布で仕上げをしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書などをお読みください。

### テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本機は（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合は本機をテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると、本機との相互作用によりテレビに色むらが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

### 取り扱い上のご注意

スピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

1. FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
2. 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
3. オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
4. マイク使用時のハウリング
5. テープレコーダーを早送りしたときの音
6. ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

### 結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、電源コードを抜き、2～3時間以上室温で放置してからご使用ください。

### メモリー保持について

本機には、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。本機の電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約5分間です。
ただし、時計は止まりますので、あらためて必要な設定を行ってください。

### 設置場所について

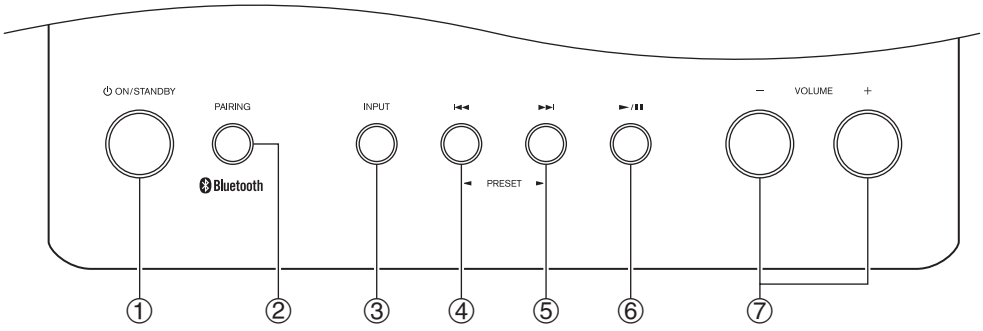
本機は直射日光の当たる場所や蛍光灯、殺菌灯などの下で使用した場合、紫外線等の影響を受けて変色することがあります。

# 各部の名前

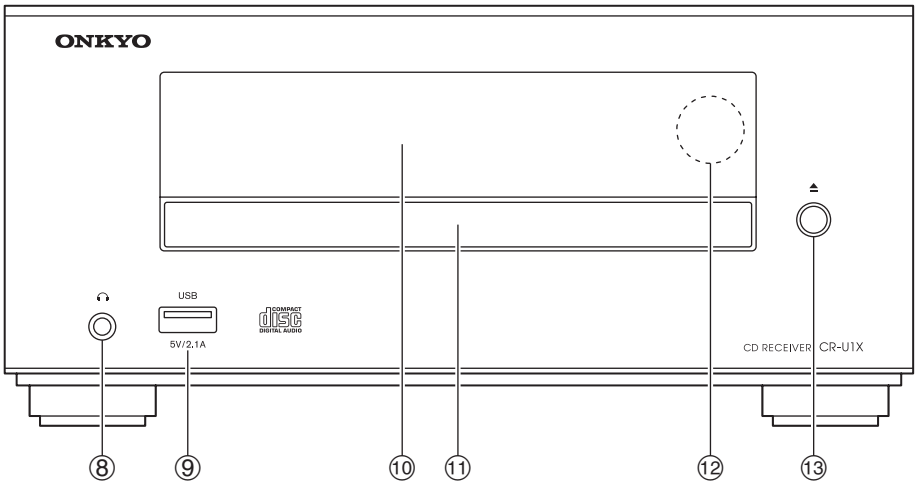
## 上面、前面パネル

〔 〕内のページに主な説明があります。

上面パネル



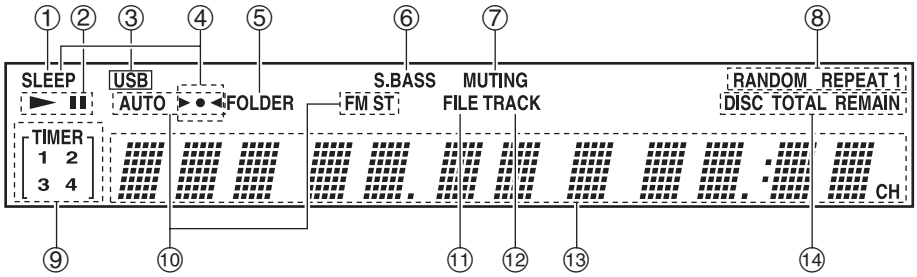

前面パネル




① ⏻ ON/STANDBY（オン／スタンバイ）ボタン〔19、23、27、28、29〕
② Bluetooth（ブルートゥース） PAIRING ボタン (23)
③ INPUT（インプット）ボタン〔18、19、23〕
④ I◄◄/PRESET（プリセット）◄ボタン〔20、22、25、29〕
⑤ ►►I/PRESET►ボタン〔20、22、25〕
⑥ ►/ II（プレイ／ポーズ）ボタン〔20、21、26〕
⑦ VOLUME（ボリューム） –/+ボタン〔19、22〕
⑧ ヘッドホン 端子〔19〕
⑨ USBポート〔18、26〕
⑩ 表示部
⑪ ディスクトレイ〔20〕
⑫ リモコン受光部〔4〕
⑬ ⏏（イジェクト） ボタン〔20〕

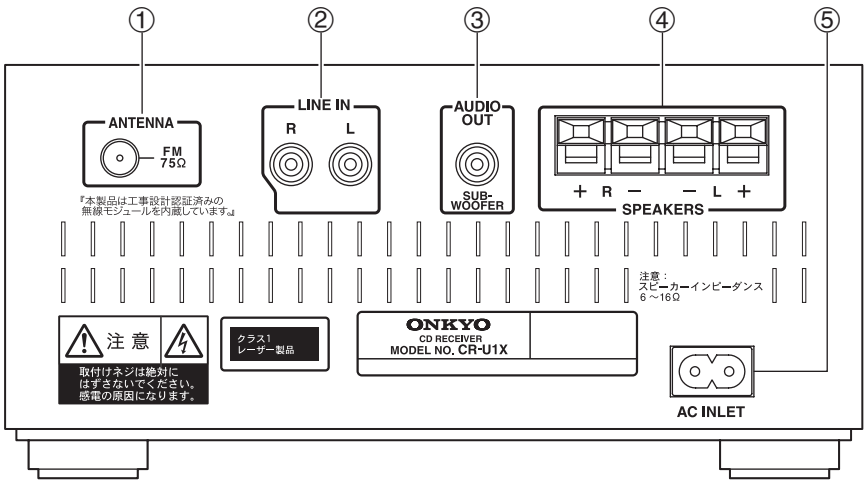
# 各部の名前

## 表示部




① SLEEP（スリープ）表示
② ►/❚❚（プレイ ポーズ）表示
③ USB表示
④ Bluetooth（ブルートゥース）表示
⑤ FOLDER（フォルダ）表示
⑥ S.BASS（スーパーバス）表示
⑦ MUTING（ミューティング）表示
⑧ 再生モード表示
⑨ TIMER（タイマー）表示
⑩ チューニング表示
⑪ FILE（ファイル）表示
⑫ TRACK（トラック）表示
⑬ 多目的表示部
⑭ DISC（ディスク）、TOTAL（トータル）、REMAIN（リメイン）表示

## 背面パネル

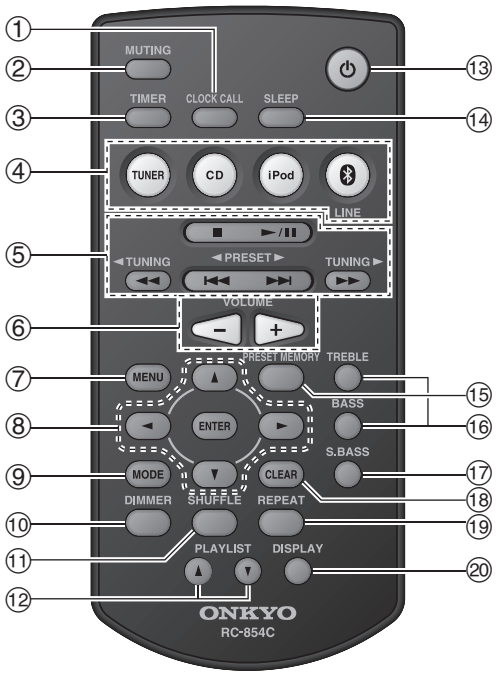



① FMアンテナ端子
② LINE IN（ライン イン）端子
③ AUDIO OUT（オーディオ アウト）（SUBWOOFER）端子
④ SPEAKERS（スピーカーズ）端子
⑤ AC INLET（インレット）

接続については、15～18ページをご覧ください。

## リモコン

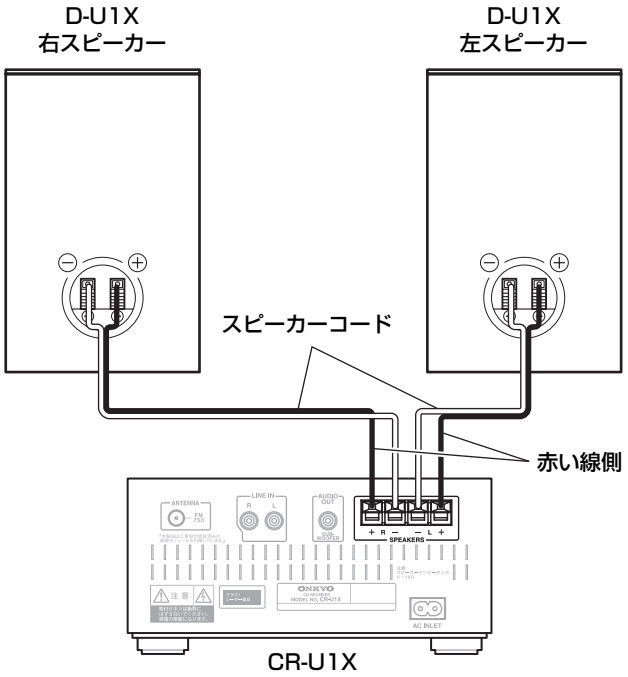
〔 〕内のページに主な説明があります。



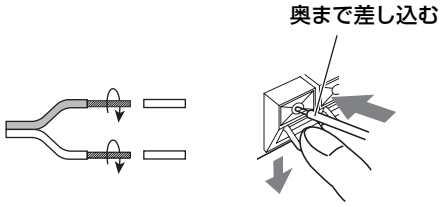

① CLOCK（クロック） CALL（コール）ボタン〔26〕
② MUTING（ミューティング）ボタン〔19〕
③ TIMER（タイマー）ボタン〔26、27、28〕
④ 入力切換ボタン〔19、22、24、25、26〕
⑤ ■（ストップ）、►/❚❚（プレイ/ポーズ）、|◄◄、►►|、PRESET（プリセット）◄ ►、◄◄、►►、TUNING（チューニング）◄ ►ボタン〔20、21、22、24、25、26〕
⑥ VOLUME（ボリューム）－/＋ボタン〔19、22〕
⑦ MENU（メニュー）ボタン〔21、22〕
⑧ ▲/▼/◄/►、ENTER（エンター）ボタン
⑨ MODE（モード）ボタン〔18、20、24〕
⑩ DIMMER（ディマー）ボタン〔19〕
⑪ SHUFFLE（シャッフル）ボタン〔21、22〕
⑫ PLAYLIST（プレイリスト）▲/▼ボタン〔22〕
⑬ ⏻（オン/スタンバイ）ボタン〔19、27、28〕
⑭ SLEEP（スリープ）ボタン〔28〕
⑮ PRESET（プリセット） MEMORY（メモリー）ボタン〔24〕
⑯ TREBLE（トレブル）/BASS（バス）ボタン〔19〕
⑰ S.BASS（スーパーバス）ボタン〔19〕
⑱ CLEAR（クリア）ボタン〔19、21、24、25〕
⑲ REPEAT（リピート）ボタン〔21、22〕
⑳ DISPLAY（ディスプレイ）ボタン〔20、21、23、26、27〕

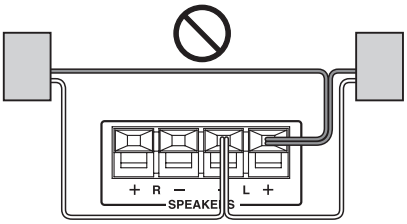
# スピーカーを接続する

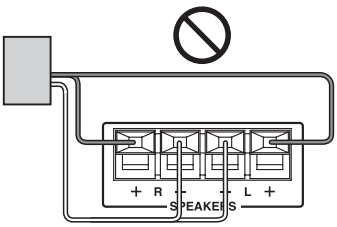
ここでは、付属のスピーカーの接続方法を説明します。




1. ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線をよじります。
2. スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。指を離すとレバーが戻ります。スピーカーコードのビニールカバーをはさみ込まないようにしてください。
3. スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。



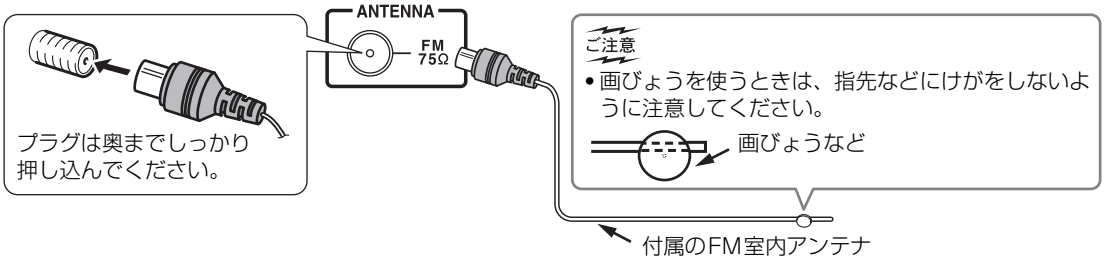

ご注意

- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。
- スピーカーのプラス（+）と本体のプラス（+）を、スピーカーのマイナス（−）と本体のマイナス（−）を接続します。付属のスピーカーコードの赤い線の方をプラス（+）側に接続してください。
- 同梱のスピーカー（D-U1X）以外は接続しないでください。他のスピーカーを組み合わせてご使用になった場合の性能・故障については、保証できません。
- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列に接続しないでください。故障の原因になります。

- 故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線どうしやしん線を背面パネルに絶対に接触させないでください。

# アンテナを接続する

ここでは、付属のFMアンテナの接続方法を説明します。
FMアンテナを接続しないと本機でFM放送を受信することはできません。必ずFMアンテナを接続してください。

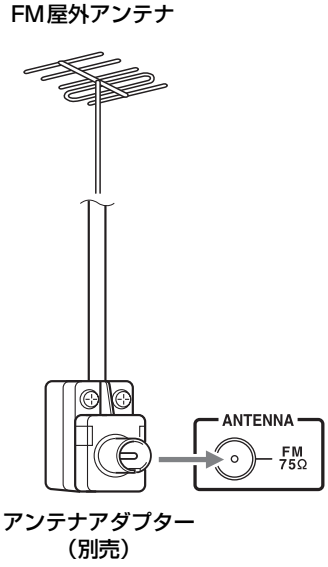



ご注意
- アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。(➔ P.24)

ヒント
- 付属のFMアンテナは室内用の簡易アンテナです。鉄筋の建物の中や送信所から遠い場合など、電波が弱くて安定した受信ができないことがあります。
その場合は、市販のFM屋外アンテナの接続をおすすめします。

ヒント
- ケーブルテレビをご覧の方は、FMがテレビと同時に送られている場合がありますので、それを利用すれば安定したFM受信が可能です。受信方法や周波数については、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

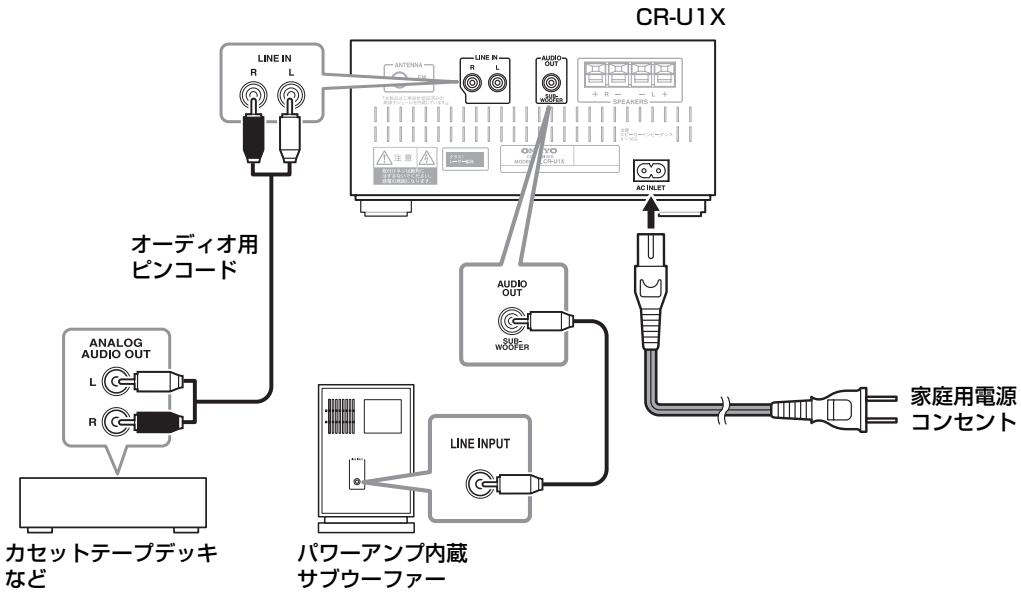
## FM屋外アンテナを接続する




### FM屋外アンテナについて
市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

ご注意
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 送電線の近くは危険ですので、絶対にアンテナを設置しないでください。

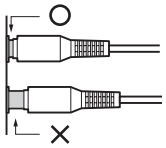
# 外部機器を接続する




**接続の前に**

- イラストは一例です。他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。

コードのプラグはしっかり奥まで差し込んでください。接続が不完全だと、雑音や動作不良の原因になります。



ご注意

- 設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。通風孔がふさがれて危険です。

## パワーアンプ内蔵サブウーファーを接続する

パワーアンプ内蔵サブウーファーを接続して使用できます。本機のAUDIO OUT端子とサブウーファーの入力端子を接続します。
サブウーファーにパワーアンプが内蔵されていないものは、サブウーファーを接続したパワーアンプの入力端子と本機のAUDIO OUT端子を接続します。
詳しくは、サブウーファーに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- サブウーファーの電源を入れたまま本機の電源コードを抜き差ししないでください。サブウーファーの故障の原因となることがあります。電源コードを抜き差しするときはサブウーファーの電源は切ってください。

## 再生機器との接続

本機のLINE IN端子と再生機器（カセットテープデッキなど）やテレビの音声出力端子を接続します。

## 電源コードの接続

付属の電源コードを本体背面のAC INLET（インレット）に接続したあと、電源コードのプラグを家庭用電源コンセントに接続します。

ご注意

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
  また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。故障や事故の原因となります。
- 電源コードのプラグをコンセントに差したままAC INLET側をはずさないでください。誤って電源コード内部の電極に触れると感電するおそれがあります。
- 本機の電源を入れると、瞬間的に大きな電流が流れて、コンピューターなどの機器の動作に影響することがあります。コンピューターなど、繊細な機器とは別系統のコンセントに接続することをおすすめします。
- 電源コードのプラグは、すぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントに接続してください。

## USBポートの接続について

本機に搭載されているUSBポートは、iPod/iPhone/iPadまたはUSBフラッシュメモリーを接続して音楽をお楽しみいただけるようになっています。
お買い上げ時は、iPod/iPhone/iPadをお使いいただけるように設定されています。
本機にiPod/iPhone/iPadを接続する場合は、iPod/iPhone/iPad付属のUSBケーブルで接続してください。
USBフラッシュメモリーを接続する場合は、次の方法で入力を切り換えてください。

**1 本機の電源を入れ、本体の[INPUT(インプット)]ボタンまたはリモコンの[iPod]ボタンでiPodを選択する**

**2 [MODE(モード)]ボタンを「USB」と表示されるまで押し続ける**
USBフラッシュメモリーの接続モードに切り換わりました。
一度USBに設定すると、モードを切り換えるまでUSBのままお使いいただけます。

iPod/iPhone/iPadを使用する場合は、同じ方法で接続モードをiPodに切り換えてからiPod/iPhone/iPadを接続してください。

ご注意
- 本機のUSBポートにパソコンを接続しないでください。
- 本機のUSB ポートにはパソコンから音声を入力できません。

# 基本の操作

この項目では、特に指定のない限り、リモコンを使った手順を説明しています。

## 電源を入れる

**[⏻] ボタンを押す**

本体の[⏻ ON/STANDBY]ボタンでも同様です。
表示部が点灯して電源が入ります。スタンバイ状態に戻すには、もう一度ボタンを押します。
iPod/iPhone/iPad付属のUSBケーブルでiPod/iPhone/iPad を本機に接続して使用しているとき、本機がスタンバイ状態でも接続モードがiPodに選択されていれば（18ページ）、本機の表示部に「Charging」と表示され、iPod/iPhone/iPad が充電されます。それ以外の設定では、スタンバイ状態で充電はされません。
電源の設定については、「自動スタンバイ」をご覧ください。

## 自動スタンバイ（ASb）の設定

お買い上げ時の設定はoff で自動スタンバイ機能は働きません。
本機が再生を停止したまま約20分間操作しない場合、自動で電源が切れてスタンバイ状態になるよう設定できます。設定操作は再生停止して行います。

***1*** **[SLEEP] ボタンを押し続ける**

ご注意

- オフにするにはもう一度ボタンを押し続けます。
- Bluetoothスタンバイの設定を「On」にしている場合、自動スタンバイ機能が働くとBluetoothスタンバイモードに移行します（23ページ）。

## 入力を切り換える

本体の[INPUT]ボタンまたはリモコンの入力切換（TUNER、CD、iPod、Bluetooth /LINE）ボタンを押して切り換えます。
TUNER（FM）、CD、iPod（USB）、Bluetooth、LINE（接続した外部機器）から選べます。本体のINPUT ボタンは、押すごとに入力が次のように切り換わります。

CD → iPod (USB) → FM → Bluetooth → LINE

## 音量を調節する

VOLUME [－]/[+]ボタンで音量を調整します。
本体のVOLUME [－]/[+]ボタンでも同様です。

## 音を一時的に消す

**[MUTING] ボタンを押す**

表示部に「Muting」と数秒間表示され、MUTING表示が点滅し、音が消えます。

ヒント

- 解除するには、[MUTING]ボタンをもう一度押すか音量調整をします。
- 本機がスタンバイ状態になった場合にも、解除されます。

## ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのステレオミニプラグを[ ]端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。
ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

## 低音または高音を調節する

**[BASS] ボタンまたは [TREBLE] ボタンを押した後、[▲]/[▼] ボタンを押して調節する**

－5から＋5の範囲で調節できます。
約5秒間操作しないと、元の表示に戻ります。

[▲]/[▼]の変わりに[CLEAR]ボタンを押すと設定を「0」にできます。

## 重低音を強調する

**[S.BASS] ボタンを押す**

ボタンを押すたびにS.Bass Off、S.Bass 1、S.Bass 2、S.Bass Off と切り換わります。
数字が大きくなるほど、より重低音が強調されます。
S.BASS機能を解除するには、[S.BASS]ボタンをくり返し押し、「S.Bass Off」を表示します。

お買い上げ時の設定：Off

## 表示部の明るさを切り換える

**[DIMMER] ボタンを押す**

ボタンを押すたびに明るさが「暗い」→「ふつう」の順に変わります。

# CDを再生する

この項目では、特に指定のない限り、リモコンを使った手順を説明しています。

## CDを再生する

**1 本体の[ ▲(イジェクト) ]ボタンを押し、ディスクトレイを開ける**

ヒント

**スタンバイ状態のときに本体の[▲]ボタンを押すと、自動的に電源が入りディスクトレイが開きます。**

**2 ディスクトレイにCDをラベル面を上にしてのせる**

8cmCDはディスクトレイの真ん中にのせてください。

**3 本体の[►/❚❚(プレイ ポーズ)]ボタンを押す**

リモコンの[►/❚❚]ボタンを押しても同様です。
ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。
「►」表示が点灯します。

### ■再生を止めるには

[ ■(ストップ) ]ボタンを押します。
最後の曲の再生が終わると、自動的に再生は停止します。

### ■一時停止するには

[►/❚❚]ボタンを押します。
「❚❚」表示が点灯します。再生を再開するには[►/❚❚]ボタンを押します。

### ■早戻し/ 早送りをする

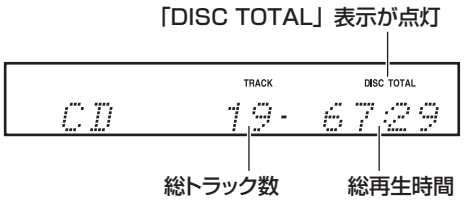
[◄◄]または[►►]ボタンを押しつづけると早戻し/ 早送りします。

### ■CDを取り出すには

本体の[▲]ボタンを押します。
ディスクトレイが開きます。
ディスクトレイを閉めるときは、もう一度[▲]ボタンを押します。

### 停止中の表示例

**オーディオCDの場合**




### 聞きたい曲を選ぶ

[I◄◄]ボタンを1回押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻り再生が始まります。
[►►I]ボタンを押すと1曲ずつ次へ進みます。

## 表示部の情報を切り換える

再生中または一時停止中に[DISPLAY(ディスプレイ)]ボタンをくり返し押すと、CDの情報を切り換えることができます。

- **現在の曲の経過時間**
- **「REMAIN」表示**

現在の曲の残り時間

- **「TOTAL REMAIN」表示**

ディスク全体の残り時間

- **セットされているCDの種類**

## CD（MP3）のフォルダやファイルを選ぶ

CD（MP3）では、ルートにファイルがあったり、フォルダの中にファイルが入っているものもあります。
フォルダの中にさらにフォルダが入っていて、その中にファイルが入っている場合もあります。
再生するときにフォルダもファイルも選ばなかったときは、ファイル番号順に再生します。
ランダム再生モードになっているときは、ファイル番号順には再生されません。ファイル番号順に再生するためには、ランダム再生を解除してください。（➔ P.21）

**1 停止中に[MODE(モード)]ボタンを押す**

「FOLDER」表示が点灯し、最初のフォルダ名が表示されます。

**2 [▲]/[▼]ボタンでフォルダを選択する**

[ENTER(エンター)]ボタンまたは[►]ボタンを押してフォルダ内に入ります。

**3 [▲]/[▼]ボタンでフォルダ内のMP3ファイルを選択する**

選択したMP3ファイルのファイル名が表示されます。
別のフォルダを選ぶときは、[◄]/[►]ボタンを押し、[▲]/[▼]ボタンを押してフォルダを選択し、[ENTER]ボタンを押します。[▲]/[▼]ボタンでファイルを選択します。

**4 [ENTER]ボタンまたは[►/❚❚(プレイ ポーズ)]ボタンを押す**

再生が始まります。
再生は選択したファイルからスタートします。
再生中に別のフォルダを選びたいときは、[MODE]ボタンを押し、「FOLDER」表示が点灯している時に[◄]/[►]/[▲]/[▼]ボタンを押してフォルダを選び、[ENTER]ボタンを押します。
その後、[▲]/[▼]ボタンでMP3ファイルを選ぶことができます。

### ■一時停止するには

[►/❚❚]ボタンを押します。
「❚❚」表示が点灯します。再生を再開するには[►/❚❚]ボタンを押します。

### ■上位または下位のフォルダを選ぶには

[◄]ボタンで上位のフォルダに、[►]ボタンで下位のフォルダを選ぶことができます。

### ■ルートに戻るには

[MODE]ボタンを押してから[MENU]ボタンを押します。

## 表示部のMP3情報を切り換える

MP3ファイル再生中にリモコンの[DISPLAY]ボタンをくり返し押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

**MP3ファイル再生中にリモコンの[DISPLAY]ボタンをくり返し押す**

次の順で表示されます。

- **再生中の曲の経過時間**
- **再生中の曲の残り時間**
- **ファイル名**
- **フォルダ名**
- **サンプリング周波数とビットレート（44k 128kbpsなど）**
- **ボリュームラベル名**

ご注意

- 半角英数字以外の文字は表示できません。
- 半角英数字以外で入力されているフォルダ名、ファイル名、ボリュームラベル名は、文字化けして表示される場合があります。

## ランダム再生

曲順をランダムに並べかえて、全曲を一通り再生します。
ランダム再生は、リピート再生と組み合わせて使うこともできます。

ご注意

- MP3ファイルの場合は、同じ曲を再生することもあります。

ランダム再生は、入力がCDまたはUSBのときに設定できます。

***1*** **[SHUFFLE]ボタンを押して、「RANDOM」を表示させる**

***2*** **[►/❚❚]ボタンを押す**

### ■ランダム再生を解除するには

[SHUFFLE]ボタンまたは[CLEAR]ボタンを押します。
ディスクを取り出しても解除されます。

## リピート再生

リピート再生は、CD全体をくり返し再生、または1曲をくり返し再生します。
リピート再生は、ランダム再生と組み合わせて使うこともできます。

**[REPEAT]ボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる**

「REPEAT」は全曲をくり返し再生します。
「REPEAT 1」は再生中の曲または選択した曲をくり返し再生します。

ご注意

- REPEAT 1が設定されているときに[SHUFFLE]ボタンを押すと、「REPEAT 1」が解除され、ランダム再生になります。

### ■リピート再生を解除するには

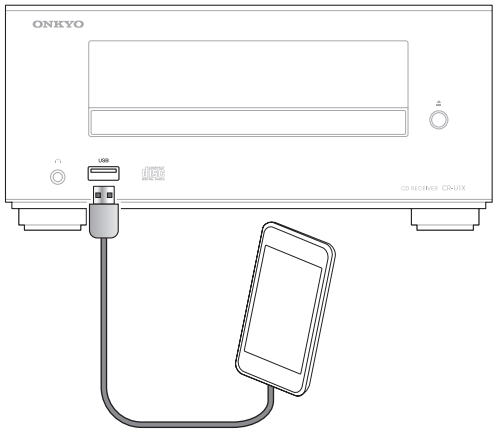
[REPEAT]ボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にします。または、[CLEAR]ボタンを押します。
ディスクを取り出しても解除されます。

# iPod/iPhone/iPadを再生する

**この項目では、特に指定のない限り、リモコンを使った手順を説明しています。**

- ご使用になる前に、必ずご使用のiPod/iPhone/iPadを最新のバージョンにアップデートしてください。最新バージョンにするためのソフトウェアアップデーターは、Apple社のホームページにて入手してください。
- iPod/iPhone/iPadの機種や再生するコンテンツによっては、一部の機能が動作しないことがあります。

## iPod/iPhone/iPadをUSBで再生する




iPod/iPhone/iPadに保存されている音楽ファイルを再生する手順について説明します。
以下のiPod/iPhone/iPadに対応しています。
iPod touch（第一、第二、第三、第四世代）、
iPod nano（第二、第三、第四、第五、第六世代）、
iPhone 4S、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G、
iPad（第三世代）、iPad 2、iPad

**1 [iPod]ボタンでiPodを選択する**
本体の[INPUT]ボタンをくり返し押しても同様です。

ご注意
- 入力表示に「USB」と表示される場合は、接続モードがUSBになっています。[MODE（モード）]ボタンを「iPod」と表示されるまで押し続け、接続モードをiPodに切り換えてからiPod/iPhone/iPadを接続し直してください。（➔ P.18）

**2 iPod/iPhone/iPad付属のUSBケーブルで本機前面パネルのUSBポートに接続する**
iPod/iPhone/iPadのコンテンツ情報を読み込み中は、表示部に「Connecting」が表示されます。読み込み完了後、本機の表示部に「iPod」と表示されます。iPod/iPhone/iPad が正常に接続されていない場合、「No Device」と表示されます。

**3 [►/❚❚（プレイ/ポーズ）]ボタンを押す**
再生が始まります。

### ■一時停止する
[►/❚❚]ボタンを押します。
もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

### ■聞きたい曲を選ぶ
再生中、一時停止中に[I◄◄]ボタンを１回押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと１曲ずつ前に戻ります。
[►►I]ボタンを押すと１曲ずつ次へ進みます。

### ■早戻し/ 早送りをする
[◄◄]または[►►]ボタンを押しつづけると早戻し/ 早送りします。

### ■ランダム再生
[SHUFFLE]ボタンをくり返し押して、iPod/iPhone/iPadのランダム再生機能を切り換えます。

### ■リピート再生
［REPEAT］ボタンをくり返し押して、iPod/iPhone/iPadのリピート再生機能を切り換えます。

### ■プレイリスト選択
PLAYLIST [▲]/[▼]ボタンを押して、プレイリストを選びます。

## iPodのメニュー操作

**1 本機リモコンの[MENU（メニュー）]ボタンを押して、iPodにメニューを表示させる**

**2 本機リモコンの[▲]/[▼]/[◄]/[►]ボタンを押し、iPodのメニュー項目（反転）を移動させる**

**3 [ENTER（エンター）]ボタンを押して、項目を選択する**

ご注意
- 音量は本機のVOLUME（ボリューム）[－]/[+]ボタンで調節します。iPod/iPhone/iPad側で調節しても音量は変わりません。
- iPod/iPhone/iPadの機種によっては、一部の機能が動作しないことがあります。

# Bluetoothで接続して再生する

## Bluetooth対応機器から音声を再生する

ご注意

- ご使用の携帯電話がA2DPプロトコルをサポートしている場合は、携帯電話内の音声ファイルを本機で再生することができます。
- 携帯電話、iPod、または他のBluetooth（ブルートゥース）対応機器とBluetooth接続を確立できます。

**1 本体の[INPUT]ボタンでBluetoothを選択する**

ヒント

- リモコンの[ /LINE]ボタンを押しても同様です。

**2 本体の[ Bluetooth PAIRING]ボタンを押して、本機をペアリングモードにします。**

ペアリングの処理中に[ Bluetooth（ブルートゥース） PAIRING]ボタンを2秒以上押し続けると、その処理が取り消されます。

**3 「Pairing...」と表示中は、10m以内の距離で携帯電話、iPod、または他のBluetooth対応機器を操作して、本機とのペアリングを行うことができます。**

Bluetooth接続を行う手順については、その機器の取扱説明書を参照してください。
本機をご使用される環境によっては、10m以内でも正常に動作しないことがあります。その場合、本機に近づけて操作してください。

**4 本機が検出されて、ご使用のBluetooth対応機器の画面に本機の機器名「Onkyo CR-U1X」が表示されたら、「Onkyo CR-U1X」を選択してください。パスワードを要求された場合、「0000」を入力してください。**

Bluetooth接続の確立に成功すると、「►●◄」表示が点灯し、本機の表示部に「Bluetooth」と表示されます。

**5 ご使用の機器で、聴きたい音声ファイルを選択してからご使用の機器の再生ボタンを押します。本機で、音声ファイルの再生が自動的に始まります。**

本機の表示部に「Pairing...」と表示されてから2分経過した後に「►●◄」表示が点灯せずに「Bluetooth」が表示された場合、ペアリングに成功しなかったことを表しています。上記の手順1～4を再度実行してください。

ご注意

- Bluetoothのペアリングが終了したにも関わらず音声が出力されないときは、その機器の取扱説明書を参照して、音声出力先を「Onkyo CR-U1X」に選択してください。
- 本機は最大8台のペアリング情報を記憶できます。9台目をペアリングした場合、最も過去にBluetooth接続した機器のペアリング情報は削除されます。
- 同時に複数の機器をBluetooth接続することはできません。
- aptXは、ワンセグ音声転送時のコピー防止技術として採用されているSCMS-Tに対応していないため、ワンセグの音声を聴くことはできません。
  ワンセグ視聴時は送信機側のaptX設定を「OFF」にしてください。

## Bluetooth情報を表示する

Bluetooth接続中に[DISPLAY]ボタンを押すと以下のBluetooth情報を表示できます。

- オーディオコーデック
- サンプリング周波数

## Bluetoothスタンバイの設定

Bluetoothスタンバイでは本機がスタンバイ状態の時にBluetooth機器で音楽再生の操作をすると自動的に本機の電源を入れることができます。

お買い上げ時の設定：Off

この設定は本機がスタンバイ状態のときに設定してください。

**スタンバイ状態の時に本体の[⏻ ON/STANDBY]ボタンを長押しする（約3秒間）**

「SLEEP」表示がうす暗く点灯します。

ご注意

- オフにするにはもう一度ボタンを押し続けます。

# FM放送を聞く

この項目では、特に指定のない限り、リモコンを使った手順を説明しています。

## 周波数を合わせて聞く

放送局を受信するとチューニング表示（►●◄）が点灯します。

FMステレオ局を受信すると、FM ST 表示が点灯します。

リモコンの[MODE]ボタンを押すごとに、Autoモードと Monoモードが切り換わります。Autoモードでは、「AUTO」表示が点灯します。

### 1 [TUNER] ボタンでFMを選択する

### 2 [◄ TUNING]/[TUNING ►] ボタンを押して、表示部を見ながら周波数を合わせる

1回押すごとに周波数が0.1MHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。ボタンをしばらく押してから指を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局を受信すると自動的に停止します。途中で止めるときは、[CLEAR]ボタンを押します。

**■放送を受信しにくいときは**

電波の弱い所や雑音の多い所では、[MODE]ボタンを押し、「AUTO」表示を消してモノラル受信（Monoモード）にしてください。雑音や音切れを軽減できます。

Autoモードに戻すときは、[MODE]ボタンを再度押します。

通常はAutoモードにしておいてください。自動的にFMステレオ受信となります。

## 放送局を自動で登録する（オートプリセット）

放送局を登録すれば周波数で合わせなくても選局できます。受信から登録まで、自動（オート）で行えます。

登録には、このオートプリセットと1局ずつ登録する方法があります。（→ P.24）

ご注意

- オートプリセットを行うと、現在登録されている放送局はすべて消えますので、ご注意ください。

### 1 [TUNER] ボタンでFMを選択する

FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。（→ P.16）

### 2 [PRESET MEMORY] ボタンを押す

「Auto Preset?」が表示されます。

### 3 [ENTER] ボタンを押す

オートプリセットが始まります。

周波数の低い方から自動的に最大30 局まで登録していきます。

オートプリセットを途中で止めるには、[CLEAR]ボタンを押します。

ご注意

- 受信環境によっては、放送局でないノイズなどが登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（→ P.25）

## 放送局を1 局ずつ登録する

受信した局を1局ずつ登録します。

全部で30チャンネルまで登録できます。

### 1 登録したい放送局を受信する

「周波数を合わせて聞く」を参考に、登録したい放送局を受信します。

### 2 [PRESET MEMORY] ボタンをチャンネル番号が点滅するまで押し続ける

チャンネル番号が点滅したら、ボタンから指を離します。しばらくするとチャンネル番号が点灯し、登録されます。

チャンネル番号は登録されていない最小の番号から順に振られます。

登録数が30を超えると「Preset FULL」と表示され、これ以上登録できなくなります。登録をする場合は、登録済みのチャンネルを削除してください。

# FM放送を聞く

## 登録した放送局を聞く

あらかじめ放送局を登録しておいてください。

**1 [TUNER（チューナー）] ボタンでFMを選択する**
最後に受信していた放送局が受信されます。

**2 [◄ PRESET（プリセット） ►] ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ**

ヒント

- スタンバイ状態でリモコンの [TUNER] ボタンを押すと、本機の電源が自動的に入り、最後に受信していた放送局が受信されます。

## 登録した放送局を削除する

**1 [◄ PRESET ►] ボタンを押して、削除するチャンネルを呼び出す**

**2 チャンネルが削除されるまで [CLEAR（クリア）] ボタンを押し続ける**
プリセットの削除が完了すると、削除した番号以降の番号を詰めて表示し直します。

# USBフラッシュメモリーを再生する

この項目では、特に指定のない限り、リモコンを使った手順を説明しています。

**1** [iPod]ボタンでiPodを選択する
「No Device（ノー デバイス）」と表示されます。

**2** [MODE（モード）]ボタンを「USB」と表示されるまで押し続ける（約3秒間）

**3** USBフラッシュメモリーをUSBポートに接続する

**4** [►/❚❚（プレイ ポーズ）]ボタンを押す
再生が始まります。
フォルダ/ファイルの選択、ランダム再生、リピート再生はCD（MP3）の再生と同じです。
（→ P.20）

ご注意
- USBフラッシュメモリーをUSBポートに接続したり、はずしたりするときは、本体が動かないように手で支えてください。
- 使用できるUSBフラッシュメモリーのフォーマットなどについては9ページ「USBフラッシュメモリーの再生について」をご覧ください。
- iPod/iPhone/iPadを使用する場合は、接続モードをiPodに切り換えてください。（→ P.18）
- 本機のUSB ポートにパソコンを接続しないでください。本機のUSB ポートにはパソコンから音声を入力できません。

# 時計を設定する

この項目では、特に指定のない限り、リモコンを使った手順を説明しています。

**1** [TIMER（タイマー）]ボタンをくり返し押し、「Clock（クロック）」を表示する

**2** [ENTER（エンター）]ボタンを押す

**3** [▲]/[▼]ボタンで時を合わせる
工場出荷時は、24時間表示になっていますので、24時間表示の場合の時で合わせてください。
12時間表示で合わせる場合は、[DISPLAY（ディスプレイ）]ボタンを押します。

**4** [ENTER]ボタンを押す

**5** [▲]/[▼]ボタンで分を合わせる

**6** 時報に合わせて[ENTER]ボタンを押す
時計が動作を開始し、秒を示すドットが点滅します。

### ■時計を表示させる

電源が入っているときは、リモコンの[CLOCK（クロック） CALL（コール）]ボタンを押します。
再度[CLOCK CALL]ボタンを押すと、元の表示に戻ります。
スタンバイ時は、[CLOCK CALL]ボタンを押すと、約8秒間表示した後、消灯します。

### ■12時間表示と24時間表示の切り換え

[CLOCK CALL]ボタンを押して時計を表示させている間に、[DISPLAY]ボタンを押します。

# タイマー機能を使う

この項目では、特に指定のない限り、リモコンを使った手順を説明しています。

本機には、設定した時刻に自動的に再生を始める予約タイマーと設定した時間が経過すると自動的にスタンバイ状態になるスリープタイマーが搭載されています。
また、iPodのアラーム再生機能を使用してのタイマー再生が行えます。

## タイマーを予約する

ご注意

- 時計が設定されていないと、タイマー予約はできません。
- 設定中約5秒間何も操作しないと元の表示に戻ります。
- タイマーによって本機の電源が入ったとき、FMでは最後に受信していた局を受信し、CDおよびiPod（USB）では最初の曲が再生されます。LINEの場合は、接続された機器の状態で再生が始まります。
- 設定できるタイマーは1つです。

**1 タイマー動作させるソースの用意をする。**

FMは聞きたい局を受信します。
CDは聞きたいディスクをセットします。
iPod/iPhone/iPadを使用する場合は、接続モードをiPod に切り換えてください(➔ P.22)。USBフラッシュメモリーを使用する場合は、接続モードをUSBに切り換えてください(➔ P.26)。
LINEは接続した機器をタイマー動作と同時に動作するようにセットしておきます。

**2 [TIMER（タイマー）] ボタンをくり返し押し、「Timer XX」を表示させる**

「XX」は前回のタイマー設定で設定したソースが表示されます。

**3 [▲]/[▼] ボタンを使って、タイマー動作させる入力ソースを選択し、[ENTER（エンター）] ボタンを押す**

選択できる入力ソースは、FM、CD、iPod（USB）、LINEです。
選択した入力ソースに合わせて、「TIMER」および番号表示が点滅します。
番号表示は「1」がFM、「2」がCD、「3」がiPod（USB）、「4」がLINEを表します。

**4 [▲]/[▼] ボタンを使って、タイマー動作させる時を設定し、[ENTER] ボタンを押す**

**5 [▲]/[▼] ボタンを使って、タイマー動作させる分を設定し、[ENTER] ボタンを押す**

**6 [▲]/[▼] ボタンを使って「Timer On」を選択し、[ENTER] ボタンを押す**

タイマーが設定されると「Timer On」と表示され、「TIMER」および選択した入力ソースの番号表示が点灯します。
数秒間無操作の場合は表示されている内容で設定されます。
「TIMER」および選択した入力ソースの番号表示以外は元の表示に戻り、タイマーが設定されます。

**7 本体の [⏻ ON（オン）/STANDBY（スタンバイ）] ボタンまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、本機をスタンバイ状態にする**

ヒント

- タイマー設定を途中でキャンセルするには、[TIMER] ボタンを押します。
- 時刻設定中に [DISPLAY（ディスプレイ）] ボタンを押すと、12時間表示/24時間表示を切り替えることができます。

ご注意

- タイマーを動作させるには、本機をスタンバイ状態にする必要があります。
  SLEEPタイマーでスタンバイ状態になった場合もタイマーが設定されているとタイマー動作をします。
  タイマーは、一度Onに設定すると、毎日同じ時刻に再生が始まります。ご旅行などでお出かけの際は、必ずOff に設定することを忘れないでください。
- タイマー動作で電源が入ると、「SLEEP」表示が点灯します。操作しない状態が1時間続くと、自動的にスタンバイ状態になります。何か操作をすると「SLEEP」表示は消え、動作を続けます。

## タイマーのOn（実行）/Off（取消）を切り換える

予約したタイマーの実行を取り消したり、タイマーを再び実行させることができます。

**1 [TIMER]ボタンをくり返し押し、「Timer On」（実行）または「Timer Off」（取消）を表示させる**

**2 [▲]/[▼]ボタンを使って「Timer On」（実行）または「Timer Off」（取消）を選択し、[ENTER]ボタンを押す**

数秒間無操作の場合は表示されている内容で設定され、元の表示に戻ります。
Timer On（実行）が設定されると「TIMER」および選択した入力ソースの番号表示が点灯します。
Timer Off（取消）が設定されると「TIMER」表示は消灯します。

## SLEEPタイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的にスタンバイ状態になります。

**[SLEEP]ボタンを押す**

「SLEEP」表示が点灯します。[SLEEP]ボタンをくり返し押し、スタンバイ状態になる時間を設定します。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。
約3秒後に元の表示に戻ります。

### ■残り時間を確認するには

[SLEEP]ボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
残り時間が表示されている間に[SLEEP]ボタンを押すと、設定時間が10分単位で減少します。
たとえば[SLEEP]ボタンを押して残り時間が55分と表示された場合、もう一度[SLEEP]ボタンを押すと50となり、その後[SLEEP]ボタンを押すごとに10分単位で減少します。

### ■SLEEPタイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまで[SLEEP]ボタンをくり返し押します。

ご注意

- タイマー動作で電源が入ると、「SLEEP」表示が点灯します。何か操作をすると「SLEEP」表示は消えます。SLEEPタイマーを設定する場合は、「SLEEP」表示が消えてからあらためて設定し直してください。

## iPodのアラーム機能を使用してのタイマー再生

本機に接続したiPodがアラーム再生により曲を再生すると、本機の電源が入り、入力がiPodになります。

**1 iPodを操作し、アラーム再生を設定する**

**2 [TIMER]ボタンをくり返し押し、iPodアラームモードの「iPodAlarmOff」を表示させる**

**3 [▲]/[▼]ボタンを使って「iPodAlarmOn」を選択し、[ENTER]ボタンを押す**

数秒間無操作の場合は表示されている内容で設定され、元の表示に戻ります。

**4 [⏻]ボタンを押し、本機をスタンバイ状態にする**

iPod/iPhone/iPadのアラーム再生が始まると、本機の電源が入り、入力がiPodになります。

ご注意

- タイマーを動作させるには、本機をスタンバイ状態にする必要があります。
- iPodは必ず接続してください。
- 映像の再生中や音楽以外のiPod内蔵の効果音（ビープ音）をアラーム音として設定している場合は機能しません。
- 音楽（楽曲）をアラーム音として設定できない機種はこの機能を使用できません。
- 接続モードをiPodにしてUSBケーブルでiPod/iPhone/iPadを本機に接続している場合、充電機能が働きスタンバイ時にもオフの時より電力を消費します。
- iPod/iPhone/iPadを充電させるには、接続モードをiPodに設定する必要があります。
- USBポートの接続モードが「USB」になっていると動作しません。（→ P.18）

ヒント

- この機能で、本機の電源が入り、入力がiPodになるのは、本機がiPodの曲の再生を検出することによります。iPodのアラーム再生を使用せずにiPodの曲を再生したときも同様に本機の電源が入り、入力がiPodになります。

# 困ったときは

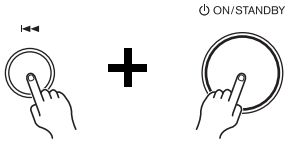
下記の内容をチェックしてみてください。本機以外の原因も考えられます。接続した機器の取扱説明書もご確認ください。

**修理を依頼される前に**

**本機の動作が異常になったときは、本機をリセットすることによって問題が解消されることがあります。**
**修理を依頼される前に、下記の「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を行い、本機をリセットしてみてください。**

**すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには**

**本機の電源が入った状態で本体の [I◀◀] ボタンを押しながら [⏻ ON/STANDBY] ボタンを押します。「RESET」と表示されたら、指を離します。しばらくするとスタンバイ状態になります。**




リセットされ、FMのプリセットチャンネルや設定が出荷時の状態に戻ります。

## 電源に関して

### 電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 電源コードが本体背面のAC INLETにしっかり接続されているか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、30分以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

### 電源が途中で切れる

- 表示部に「SLEEP」表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。(→ P.28)

## 音に関して

### 音が出ない

- 音量が小さすぎませんか？
- 入力ソースが正しく選択されているか確認してください。(→ P.19)
- 「MUTING」表示が点滅している場合は、ミューティング機能が働いていますので、リモコンの [MUTING] ボタンを押して解除してください。(→ P.19)
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーから音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。(→ P.19)
- LINE INに接続した外部機器の音が出ない場合は、接続を確認してください。(→ P.17)
- LINE INに接続した外部機器の音が出ない場合は、外部機器の音声出力レベル（音量）が低すぎないか確認してください。

### 音が良くない / 雑音が入る

- スピーカーの（+）（−）、左右（LR）が正しく接続されているか確認してください。
- ピンコードのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響を受けることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中にディスクを読み取る音が聞こえることがあります。

### 振動で音が途切れる

- 本機は据え置きタイプで設計されていますので、できるだけ振動の少ない設置場所でご使用ください。
- スピーカーに付属のコルクスペーサーは貼り付けられていますか？ (→ P.4)

### ヘッドホンから音が出ない / ノイズが出る

- ヘッドホンプラグやヘッドホン端子を清掃してください。清掃方法は、ヘッドホンの取扱説明書を参照してください。また、ヘッドホンケーブルが断線していないか確認してください。

### 音質に関して

- 電源投入後10〜30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

## CD に関して

### ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。(→ P.10)
- 結露していると思われる場合は電源コードを抜き、2〜3時間以上室温で放置してください。(→ P.11)
- CD-R/RWディスクによっては再生できない場合があります。(→ P.9)

### 再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。

### 音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっていると音飛びすることがあります。振動の少ない場所に設置してください。
- ディスクに大きな傷や汚れがありませんか？汚れはふき取ってください。(→ P.10)

### MP3 ディスクが再生できない

- 本機が対応しているMP3フォーマットか確認してください。(→ P.9)
- ディスクはクローズ（ファイナライズ）してください。
- ファイル名の後に「.mp3」、または「.MP3」という拡張子が付いていますか？

## 複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

### 再生時に雑音が入ったり、音飛びする / ディスクを認識せず「CD No Disc」の表示が出る / 1 曲目を再生しない / 頭出しに通常よりも時間がかかる / 曲の途中から再生する / 再生できない箇所がある / 再生の途中で停止する / 誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で正常に再生できない場合があります。

## iPod/iPhone/iPadに関して

### 音が出ない

- 入力表示がiPodになっているか確認してください。もしUSBになっている場合は、接続モードをiPodに切り換えてください。(→ P.18)
- 本機にiPod/iPhone/iPadがしっかり接続されているか確認してください。(→ P.22)
- 本機の電源が入っているか、入力が「iPod」になっているか、音量が小さくなっていないか、確認してください。(→ P.22)
- お使いのiPod/iPhone/iPadが本機に対応しているか確認してください。(→ P.3)

### 「ERROR」のメッセージが表示される

- 一度iPod/iPhone/iPadを抜き、再度接続してみてください。

### 操作できない

- 本機にiPod/iPhone/iPadがしっかり接続されているか確認してください。(→ P.22)
- iPod/iPhone/iPadを本機に接続してすぐは操作できない場合があります。しばらく待って操作し直してみてください。
- iPod/iPhone/iPadの機種やソフトウェアのバージョン、あるいは再生するコンテンツによっては、一部の機能が動作しないことがあります。
- 「No Device」と表示される場合は、一旦iPod/iPhone/iPadをはずし、再度接続し直してください。

### 充電できない

- USBポートの接続モードが「USB」になっていると動作しません。(→ P.18)

## Bluetoothに関して

### Bluetooth 接続を確立できない

- 本機とご使用の機器との間で最初にBluetooth接続を確立する際に接続に失敗する場合は、ご使用の機器の電源を入れ直して機器名をクリアしてから、再度Bluetooth接続を確立してください。(→ P.23)

## USBフラッシュメモリーに関して

### 音楽ファイルが読み込めない

- 入力表示がUSBになっているか確認してください。もしiPodになっている場合は、接続モードをUSBに切り換えてください。(→ P.18)
  次にご使用のUSBフラッシュメモリーが本機と互換性があるものか確認してください。また、正しく接続されているか確認してください。(→ P.9)
- USBフラッシュメモリーによっては再生できない場合があります。(→ P.9)
- USBフラッシュメモリーが正しくフォーマットされていない。(→ P.9)
- USBハブを使用している。USBフラッシュメモリーは直接USBポートに接続してください。
- 本機では、MP3ファイル以外は再生できません。
- 「No Device」と表示される場合は、一旦USBフラッシュメモリーをはずし、再度接続し直してください。

### MP3 ファイルが再生できない

- ファイル名の後に「.mp3」、または「.MP3」という拡張子が付いていますか？
- 本機が対応しているMP3フォーマットか確認してください。(→ P.9)
- 著作権保護されたMP3ファイルは再生できません。

## FM放送に関して

### 放送に雑音が入る /FM ステレオ放送のとき、サーというノイズが多い / オートプリセットで放送局が呼び出せない（FM のみ）/FM 放送で「FM ST」表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。（→ P.16）
- アンテナの位置を変えてみてください。（→ P.16）
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 鉄筋の建物の中などは電波が遮断されるため受信しにくくなります。アンテナを窓際に設置してください。
- FMモードをモノラルに切り換えてみてください。（→ P.24）
- それでも受信状態がよくないときは、市販の室内アンテナまたは屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。（→ P.16）

### 停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- 短時間の停電ではメモリー内容が消えることはありませんが、長時間電源プラグを抜いたままにすると時計設定のみ（タイマー含む）リセットされます。あらためて必要な設定を行ってください。

### 周波数を調整できない

- リモコンのみの操作になります。リモコンの[◄ TUNING]/[TUNING ►]ボタンを押して調整してください。（→ P.24）

## リモコンに関して

### リモコンが働かない

- 電池が消耗していませんか？（→ P.4）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？また、リモコンと本体の間に障害物がありませんか？（→ P.4）
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？（→ P.4）
- 本体を色付きのガラス扉が付いたラックやキャビネットに設置していると、扉が閉じているとリモコンが正常に機能しないことがあります。

## 外部機器との接続に関して

### レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

## タイマーに関して

### タイマー再生しない

- 時計は正しく設定されていますか？（→ P.26）
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーは動作しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。（→ P.27）
- タイマー設定中に[TIMER]ボタンを押すと、タイマー設定はキャンセルされます。（→ P.28）
- タイマー再生時の音量設定は、スタンバイにする直前の音量になります。適切に設定しておいてください。
- 停電になり、時計が停止するとタイマーもリセットされます。あらためて時計を設定し直し、タイマーを設定してください。

## 時計に関して

### [CLOCK CALL] ボタンを押して、「－－：－－」と表示される

- 停電になり、時計が停止しました。あらためて時計を設定し直してください。（→ P.26）

## その他

### 待機時電力について

- iPod/iPhone/iPadを充電している場合、スタンバイ状態時の消費電力が増加します。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大切な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約30分以上待ってからあらためて電源プラグを差し込んでください。
それでも直らない場合は、29ページの「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を参照してリセットしてください。

# 主な仕様

## CDレシーバー部（CR-U1X）

### ■総合

**電源・電圧**　AC 100V、50/60Hz
**消費電力**　30W
**無音時消費電力**
7.9W（iPod/iPhone 充電時を除く）
**待機時電力**　0.5W
**最大外形寸法**　215（幅）× 100（高さ）× 270（奥行）mm
**質量**　2.4kg
**音声入力**　アナログ：LINE
**音声出力**　サブウーファー、スピーカー、ヘッドホン
**USB**　2.0HS

### ■アンプ部

**定格出力**　2ch × 15W（6Ω、2ch 駆動時（同時駆動）、JEITA）
**実用最大出力**　2ch × 15W（6Ω、1kHz、2ch 駆動時（同時駆動）、JEITA）
**総合歪率**　10%（定格出力時）
0.5%（1kHz、1W 出力時）
**ダンピングファクター**
60（1kHz、8Ω）
**入力感度 / インピーダンス**
1000mV/47kΩ（LINE）
**周波数特性**　40Hz ～ 20kHz/ + 0dB、− 3dB（LINE）
**トーンコントロール最大変化量**
± 10dB、100Hz（BASS）
± 10dB、10kHz（TREBLE）
+ 4dB/+8dB、80Hz(S.BASS1/2)
**SN 比**　84dB（LINE、IHF-A）
**スピーカー適応インピーダンス**
6Ω ～ 16Ω

### ■FMチューナー部

**受信範囲**　FM：76.00MHz ～ 90.00MHz
**プリセットチャンネル数**
30

### ■CD部

**再生可能メディア**
CD、CD-R/CD-RW（音楽 CD、MP3）

### ■USB

**再生可能メディア**
USB フラッシュメモリー（MP3）

### ■Bluetooth

**バージョン**　2.1 + EDR
**プロファイル**　A2DP 1.2
**コーデック**　SBC、AAC、aptX

## スピーカー部（D-U1X）

**形式**　2 ウェイバスレフ型
**定格インピーダンス**
6Ω
**最大入力**　30W
**定格感度レベル**
82dB/W/m
**定格周波数範囲**
55Hz ～ 50kHz
**クロスオーバー周波数**
4.5kHz
**キャビネット内容積**
2.6 リットル
**最大外形寸法**　130（幅）× 203（高さ）× 173（奥行）mm（グリルネット、ターミナル突起部含む）
**質量（1 台）**　1.9kg
**使用スピーカー**
ウーファー：10cm コーンウーファー
ツィーター：2cm バランスドーム
**ターミナル**　プッシュ式
**防磁設計**　有（JEITA）

※ 仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

ONKYO

# オンキヨー ご相談窓口・修理窓口のご案内

※販売店の長期保証制度にご加入いただいた製品の保証期間内の修理は、お買い求めの販売店へご依頼いただくようお願いします。

## ■「送付」による修理をご希望の場合は

下記のオーディオリペアセンターへご送付ください。

〒682-0925　鳥取県倉吉市秋喜243番地
オンキヨー　鳥取オーディオリペアセンター　修理受付窓口宛　　050-3161-9555
（詳しくは）http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
（ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能）

## ■ お近くの修理拠点へ「持込み」をご希望の場合は

下記のURLにて全国の修理拠点のご案内がございます。お持込みの際には営業日を確認のうえでご訪問いただくようお願いします。

（詳しくは）http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
（ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能）

## ■「出張修理」をご希望の場合、その他ご不明な点は

下記のオンキヨー オーディオコールセンターへご相談ください。

オーディオコールセンター　050-3161-9555（IP電話）
（受付時間：10:00～18:00　土・日・祝日及び弊社で定める休業日を除きます）

※出張修理の際は、修理費用以外に出張費用が別途かかります。また、地域によっては、出張修理のできないエリアがございます。あらかじめご了承ください。

2012年1月現在　　住所、電話番号、受付時間などは変更になることがございます。

# 修理について

### ■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

### ■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常があるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または本書「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- **▶ お名前**
- **▶ お電話番号**
- **▶ ご住所**
- **▶ 製品名** X-U1X
- **▶ できるだけ詳しい故障状況**

### ■オンキヨー修理窓口について

詳細は本書「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

### ■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

### ■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

### ■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

**ご購入年月日：** 　　年　　月　　日

**ご購入店名：**

Tel.　　(　　)

**メモ：**

# メモ

ONKYO

**オンキヨー株式会社**
〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎050-3161-9555（受付時間　10：00～18：00）
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

Y1206-1

SN 29401313

(C) Copyright 2012 Onkyo Corporation Japan. All rights reserved.

* 2 9 4 0 1 3 1 3 *